

頂高裾広

西日本実業柔道連盟50年の記録

記念誌テーマ「頂高裾広」
題字・森 詳介

ごあいさつ	西日本実業柔道連盟会長 森 詳介	4
祝 辞	(財)全日本柔道連盟会長 上村春樹	6
祝 辞	全日本実業柔道連盟会長 山口信夫	7
グラビア		
オリンピック出場選手たち		8
連盟創立50周年記念誌発刊に寄せて	西日本実業柔道連盟副会長 橋田紘一	10
記念誌発刊に当たって	西日本実業柔道連盟副会長 駕田 毅	10
記念誌の発刊にあたり	西日本実業柔道連盟副会長 芝尾信二	11
記念誌発刊にあたり	西日本実業柔道連盟副会長 亀井啓次	11
歴代会長・理事長		12
特別寄稿	読売新聞社大阪本社運動部長 佐々川修二	15
内閣総理大臣杯の由来・各賞について		16
大会の歩み		
この十年の歩み	西日本実業柔道連盟副理事長 山本裕洋	18
(社会貢献と大会運営上の諸改革)		
当連盟の海外事業について		22
ホームページ開設		31
当連盟のメディア対応(関西運動記者クラブへの説明会等)		32
大会記録 2001(平成13年)第41回大会〜2010(平成22年)第50回大会		33
フランス柔道調査視察事業報告	西日本実業柔道連盟副理事長 山本裕洋	82
座談会		
連盟50年の歩みと歴代会長の想い出		91
実業柔道の果たす役割を探る		109
西日本実業柔道連盟 加盟団体一覧		116
西日本実業柔道連盟 略年表		121
西日本実業柔道連盟 協賛団体・個人一覧		128
編集を終えて		130

お覚悟は古武士のそれだったと思います。主治医に余命は2、3年ですかと尋ねられた時、先生が口ごもった瞬間に会長は全てを察知されたようですね。米田先生からお伺いいたしました。

米田 いやもう、ご自身のことを分かっておられたので、自分でごく親しい数名の方に電話でご挨拶をされたそうです。

大橋 米澤会長、松本会長とも濱野先生の教え子であられました。実は私も濱野先生の教え子です。私はテレビ結婚式を上げましたが、仲人は濱野先生にお願いしました。お二人が濱野門下というのを知ってからは、非常に近い思い、お二人に親しみを増しました。そういう関係から両先生には非常に大事にして戴きました。

司会 私は米澤会長には、フィリピン指導員派遣準備をしていた頃、その一環で池田光輝先生がフィリピンに約1年間指導に行かれる時、英語の雇用契約書を作成することになって、何度かお目に掛かり親しく接して戴きました。私が英文を作成した訳ではないのですが。

米田 山本さん、フィリピンに行った時、財務省からマニラに本部のあるアジア開発銀行に行っておられた大村雅基理事がマニラでのレセプションに来てくれましたね。

山本 はいそうでした。わざわざホテルまで訪ねて来られたのを知り、米澤会長の人脈の広さには驚きました。

司会 フィリピンに行かれる前に、マニラの大村先生から米澤会長のことで会社へ私に電話問い合わせがありました。経緯などを細かく聞かれました。米澤会長が大村理事も招待して欲しい旨、フ

打ち込んだ柔道の精神は会長の人となり大きく影響しているように思いますし、その証拠に柔道を通じての会合や人間関係は今でも大変大切にしておられます。

また、会長は会社において、柔道などスポーツを通じて培ったバイタリティや豊かな人間関係などは、職場の活性化や事業運営にも多にプラスになることをよく申しておられますし、各種スポーツの部活動をおおいに推奨しております。このことは「柔道を通じて社会人としての人格形成と相互の親睦融和」という実業柔道の目的、また、嘉納治五郎先生の唱えられた「精力善用」の理念にも通用することであると思います。

司会 会長への説明、報告を通じて、また旧帝大柔道部ご出身として、お付き合いの深い瀬戸口先生、一言森会長に聞いてお願います。

瀬戸口 2005年(平成13年)に事務局長を拝命しましたが、翌2006年が役員改選期に当たりました。その際、副会長に相応しい方をとの話になり、以前から或る会合で一緒に話を聞いていた森現会長にお願いしたらどうかと発言したところ、早速に打診することになり、快く受けて戴きました。結果的に今日の森会長に繋がるわけで、良かったと言ってお願います。

また、森会長のご挨拶の中にはいつも「日本を代表する選手から、仕事の合間に町道場で汗を流す選手まで……」というせりふが出てまいります。会長のご自身の体験と柔道を志す者への原点というか、我々が忘れてならない視点を示しておられるものと思っております。ともあれ、素晴らしい会長を戴いているということに、今更ながらありが

フィリピンアマチュア柔道協会のハイロ会長へのメールを私が代筆しましたので、ハイロ会長から連絡があったようです。向こうでは要領を得られなかったため、日本の私に照会されたという次第です。

米田 それで来て戴いたのかな。あのレセプションの後、大村理事は会長の部屋で果物を食べながら歓談されていました。



フィリピン柔道活性化プロジェクトで、レセプションでのひとこま (右端・米澤会長、隣・PAJAハイロ会長)

大橋 米澤会長が如何に人脈の豊かな方であったことが伺えるお話ですね。

森 詳介会長を語る

司会 ありがとうございます。さて、米澤会長がお引き受けされたことを大変お喜びになられた

たさを感じているところです。

司会 ありがとうございます。話は少し飛びますが、先の記念式典の時、会長は風邪を引かれておられたにも拘わらず、最後まで居られ、皆さんと楽しく会話をなされていきました。岡本先生、いつもそうなのでしょいか? 数年前、連盟の理事会・常任理事会後の新年懇親会では中座なされず、お開きまでお付き合いされていまして、明日は休みだからと勝手に思っていたところ、翌日の土曜日の午後にテレビニュースを見たら、世間の注目を浴びていることで、朝から北陸に行かれていて、その知事と面会されている様子が放送されていました。あれには正直驚き、感激したことがあります。



森会長を囲んで (前列右端・阿南惟正 全実柔連副会長、同3人目 加藤秀雄 近畿柔連会長)

岡本 電力事業のあるいは地域公益事業の経営者という立場から、多数の団体の役職につかせて戴

という森 詳介会長の連盟会長就任のことに移らせて戴きますが、米澤会長や米田理事とは逆に、会社の柔道部におられて、要請をお受けされる側で尽力された岡本先生、森会長の柔道に対する情熱、経緯など、日頃接しておられる中で伺いされていることを是非お聞かせ下さい。

岡本 連盟の方から、会長就任のご要請があったのは、2005年(平成17年)の秋であったように記憶しております。故・米澤元会長、米田理事、瀬戸口事務局長が本社の方にお見えになり、会長就任に向けて、ご懇篤なる要請を戴きました。



2009年 第49回大会で開会挨拶される森 詳介会長

会長は、社長就任間もなく、社業の方も大変に繁忙を極めていた時期であっただけに、連盟の会長という重職を引き受けて何ほどのことが出来るかといった思いもあつたようですが、最後は皆さん方の情熱と会長就任後は全力で支えていくといった温かいお言葉の前に押し切られたというような形ではないかと記憶しております。

森会長は高校、大学で柔道にいそしんでおられました。実業団の柔道には大学卒業以来あまり関わりを持たれませんでした。しかし、青春期にいておられますが、その中でも柔道連盟に対する思い入れはとりわけ強いようであり、優先して時間をさいております。

正直言って、仕事の方は心身ともに1年365日かなりハードスケジュールですが、柔道連盟の関連についても「引き受けた以上はしっかりとやらねば」ということを言っておりますのを幾度か耳にし、側にいる私が身の引き締まるような思いをしたことがありますし、何事にも正面から向き合い、一つ一つの出会いを疎かにしない誠実な人柄があらわれているように思います。

また、会長は常々「柔道連盟の会合には皆さんのやる気を感じる」とも申しております。森は社業でも仕事に対する「熱い思い」という言葉を口にする場合がありますが、連盟の皆さん方のやる気と申しますか、柔道に対する情熱に森自身が触発されているという面もあるのではないのでしょうか。

歴代会長のたいまつを掲げて

司会 ありがとうございます。そろそろ予定の時刻が過ぎようとしています。最後に、ここまでの話しに生まれた歴代会長の柔道への思い、柔道に情熱を受け継ぎ、10年先、次の半世紀を見据えて、西日本実業柔道連盟のバックボーン、根幹となる心構え等について、お話し戴ければと存じます。まず、米田先生お願います。

米田 私と実業柔道連盟との関わりは、大学を卒業した翌年の1960年(昭和35年)の第1回大会からですが、当時の連盟トップのお考えは、戦